

年間第7主日礼拝

聖霊降臨祭

【主日朝礼拝式次第】

【入祭の部】

前 奏 (黙禱)
「来たれ聖霊、わが主」
(讃美歌 21 の 341)
G.F.カウフマン作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/346 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編 51 篇 12~21 節

【み言葉の礼拝】

聖 書
✦ヨエル書 2 章 23 節~3 章 5 節
✦使徒言行録 2 章 1~13 節
(旧 P.1424) (新 P.214)

応 答 唱 讃美歌 21/46 番
教 話 井上隆晶牧師

『老人は夢を見、若者は幻を見る』

使徒信条

【聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り (連禱)
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/339 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉 井上隆晶牧師
祝福の祈り //
後 奏 (黙禱)
「神の息よ」(讃美歌 21 の 349)
高浪晋一作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 寺田律子
奏 楽 飯田雅子
献金当番 松本貴子
受付当番 澤田真弓

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)
・お話し: 小坪英恵
◇讃美歌練習 (礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・5月21日(火) 午前8時30分
・5月24日(金) 午前9時
◇英会話グループ
・5月23日(木) 午後7時30分

【次週主日5月26日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)
・お話し: 黒澤 巖
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)
・聖 書
✦ヨハネによる福音書 7 章 32 節~
39 節 (新 P.179)
・教 話 川江亜希子牧師
『たゆたえども沈まず』
・讃美歌 21 337、46、458
・交読詩篇 詩編 71: 14~19
・司式補佐 飯田雅子
・奏 楽 鹿野幸枝
・献金当番 山千代憲一
・受付当番 屋宮英男
◇讃美歌練習 (礼拝後)

聖 句

「炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると一同は聖霊に満たされた。」

(使徒 2 章 3 節)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 20 日 (月) 午前 10 時 30 分「大キ連役員会」、21 日 (火) 午前 10 時「心の病の勉強会」、23 日 (木) 午後 2 時「大阪 YWCA 福祉会理事会」(シャロン千里)
- ②本日は聖霊降臨祭 (ペンテコステ) です。聖霊が降り世界宣教が始まったことを祝います。ペンテコステ感謝献金を献げましょう。献金目標は 15 万円です。
- ③台湾地震緊急救援募金として 5000 円を日本基督教団社会委員会宛てにお送りいたしました。
- ④《5月の行事のお知らせ》
■5月21日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
■5月26日(日)「中部地区交換講壇」浪花教会の川江亜希子牧師を招いての礼拝です。井上牧師は浪花教会での奉仕に行きます。牧師たちの働きの為にお祈りください。
■5月27日(月) 午後1時30分「シャロン千里礼拝」
- ⑤【先週の集会統計】

日	集会	男	女	大人	計	礼拝献金
12	CS礼拝	-	1	5	6	¥2,000
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
12	朝の礼拝	9	13	2	24	¥17,330
14	朝の祈り	3	4	-	7	
17	朝の祈り	2	3	-	5	

- ⑥【5/5の献金報告】[月定] 井上隆晶、相澤美子、小淵公子、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝 (計 70,000 円) [イースター感謝] 小淵公子 (計 10,000 円) [ペンテコステ感謝] 井上隆晶 (計 20,000 円) [誕生・受洗感謝] 相澤美子、小淵公子 (計 13,000 円) [互助] 井上隆晶、屋宮英男、澤田昌人、澤田真弓 (計 4,000 円) [建築] 井上隆晶、澤田昌人、澤田真弓 (計 15,000 円)
※ 皆様の献金に感謝します。



【先週の説教要旨の続き】

「さ、さい、天ばかりでなく地上を見なさい」と言っているようです。4世紀のアウグスティヌスはこう言っています。「主は私たちの所に降って来られた時、天を去ったわけではなく、再び天に昇られた時も、私たちから身を引かれたのではありません。」共におられるのですが、その有り様が変わったのです。今までは「肉体の姿」で共におられたのですが、これからは「教会という姿」で共にいて下さるのです。イエス様は神なので、地上で働くための肉体が必要であったように、教会という体で今は働いておられるのです。ですから教会に来た時、これはキリストだと思わなければなりません。フィリップ・ヤンシーもC・S・ルイスも若い頃、教会が嫌いになり離れました。しかし彼らは戻ってきました。C・S・ルイスはこう書いています。「私は讃美歌が大嫌い、下手な歌詞に、さらに下手な曲がつけられているようなものだと思っていた。だが、そのうちに、私はその価値が見えてきた。…讃美歌は、それでもゴム靴を履いて向こう側の席に座っている年老いた聖徒によって、信仰と奉仕の気持ちをこめて歌われていることに気づいたのだ。そのとき、自分にはその靴をきれいにする値打ちもないことに気づいた。それが分かった時、ひとりよがりのうぬぼれた気持ちは拭い去られていた。」ヤンシーはこう語ります。「教会は本来、楽しみを提供したり、弱さを励ましたり、自尊心を育てたり、友情を育んだりする場所ではなく、神を礼拝する場所である。この点で失敗するならばその教会は失敗である。…礼拝のための装飾品も、礼拝する人を神と出会うための道具にすぎないことを私は学んだ。…ウォルター・ウィングはこのように言う。礼拝とは、その家の主人が誰であるのかを思い出すことである、と。」
教会は地に属する者を天に引き上げる場、皆さんを神化、キリスト化する場所です。ここにおられる主人、キリストに賛美を献げ、ぜひ出会っていただきたいと願います。